

分類 番号	A8	取組 名称	地域の絆づくりのための地域資源発掘・整理と、町民ワークショップによる学ぶ場の創出
研究代表者：	公共政策学部	職・氏名：	准教授・田所 祐史
研究担当者：	京都府立大学：公共政策学部（菱木智一、青山公三、杉岡秀紀）、京都政策研究センター（永田恵理子）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	・久御山町教育委員会社会教育課		
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>本調査研究は、平成26年度の受託研究でワークショップを通じて作成したガイドマップの成果を引き継ぎ、発掘・整理された地域資源を、地域の絆づくりのために社会教育の観点からいかに活用できるかを検討しようとするものである。</p> <p>調査研究期間中に、特に「旧山田家住宅」の利活用について課題となり、これを中心に検討した。ワークショップを開催し、町政モニター調査の検討、三重県松阪市の「旧長谷川邸」視察等を行い、地域資源を生涯学習・社会教育の場・教材として利活用する方策、周知・広報、絆づくりに向けてできることを探った。</p> <p>&lt;活動状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27. 5. 25 第1回打ち合わせ：今後の進め方を確認</li> <li>・H27. 6. 15 現地視察&amp;第2回打ち合わせ：町内社会教育施設・文化財等を視察</li> <li>・H27. 7. 1 第3回打ち合わせ：ワークショップ準備ほか</li> <li>・H27. 8. 10 第1回ワークショップ：東一口ふる里を学ぶ会</li> <li>・H27. 9. 28 第2回ワークショップ：久御山町郷土史会・久御山ふるさと研究会</li> <li>・H27. 10. 26 第3回ワークショップ：佐山・東角両幼稚園PTA</li> <li>・H27. 10. 28 三重県松阪市「旧長谷川邸」視察調査</li> <li>・H27. 11. 18 第4回打ち合わせ：情報・意見交換</li> <li>・H28. 2. 2 第5回打ち合わせ：町政モニターアンケート調査結果の検討ほか</li> <li>・H28. 3. 4 住総研 第44回シンポジウム「住まいを受け継ぐ社会の仕組み」参加</li> </ul>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>① ワークショップは聞き取り中心で行われ、町民と行政の密な関係をうかがうことができた。同時に協働関係構築の課題があることが分かった。</li> <li>② 地域資源の保存や安全性確保が費用面を含めて厳しい状況下で、その利活用を考案し、実施体制を整えるには困難を伴う、という問題点・課題が明らかになった。</li> <li>③ 地域資源の価値を再発見し、生涯学習・社会教育の場・教材等に活用する前提として、交通アクセス問題、広報・周知方法の工夫、人づくり（町民・職員）の必要性が明らかになった。</li> </ol>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
「旧山田家住宅」をめぐる町教育行政施策や町全体の行政施策の動向をにらみながら、析出された課題の解決に向けて、他の地域資源とあわせた利活用や、広報、町民との協働関係構築等を模索する。			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
公共政策学部 職名：准教授 田所 祐史 Tel: 075-703-5101 E-mail: tadokoro@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）



旧山田家住宅 長屋門・長塀



主屋玄関



長塀修築前の状況



主屋内の座敷の状況



資材置き場となっている現敷地



第3回ワークショップの様子



旧長谷川邸（三重県松阪市）